

# 図画工作科 指導改善のポイント①

## ～「育成する資質や能力」を明確にする～

学習指導要領の趣旨を踏まえ、図画工作科の指導改善を図っていくにはどのようなことが大切か、そのポイントをおさえていきます。



図画工作科の授業では、どのようなことを大切にして指導したらよいのですか？

では、まず、図画工作科で「育成する資質や能力」に着目してみましょう。

図画工作科の指導では、「育成する資質や能力」を明確にして指導を行うことが大切です。

学習活動が、どんな学び、どんな育ちにつながっているか意識することが重要です。



「育成する資質や能力」とは、どのようなことですか？

図画工作科では、「造形的な創造活動の基礎的な能力」などが、それにあたります。

「造形的な創造活動の基礎的な能力」は、自分の思いを形や色などで表したり、よさや美しさを感じ取ったりするために必要な能力のことです。

具体的には、「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」などを示します。



指導を行うにあたっては、それぞれの能力を理解しておくことが大切です。三つの能力についてしっかりおさえておきましょう。

○ 発想や構想の能力

形や色、イメージなどを基に想像をふくらませたり、表したいことを考えたり、計画を立てたりするなどの能力。

○ 創造的な技能

材料や用具を用いたり、表現方法をつくりだしたりするなど、自分の思いを具体的に表現する能力。

○ 鑑賞の能力

作品をつくったり見たりするときに働いているよさや美しさなどを感じ取る能力。



その上で、題材において育てたい能力を明確にします。

児童がその能力を十分に働かせているかどうかを視点を当てて、毎時間の指導や評価を工夫してください。

以下の資料も参考にしてください。

「発想や構想の能力」や「創造的な技能」、「鑑賞の能力」を働かせている児童の姿が具体的にイメージできると思います。

<参考> 国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校図画工作科）」から

高学年のA表現（2）の評価規準の設定例		中学年のB鑑賞（1）の評価規準の設定例
発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>心や感情について自分の思い描いたイメージが表れるような形や色を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵の具や筆などの特徴を生かしながら、濃淡やにじみ、重なりや動きなど、<u>表し方を工夫している。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>彫刻刀で板を彫りながら、線や動きの感じ、<u>表し方の違いなどを捉えている。</u></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>糸のこぎりで板材を切りとることによってできた形や色などから、表したいことを<u>思い付いている。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のイメージに合うように、糸のこぎりを使って、<u>板材の切り方を工夫している。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちを話したり、友人の考えを聞いたりしながら、<u>作品の共通点や相違点、表現の工夫などを捉えている。</u></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>動きの面白さから表したいことを<u>見付けたり、つくる順序を考えたりしている。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クランクなどの動く仕組みを生かして、<u>面白い動きを工夫している。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵はがきでゲームをしたり、<u>仮想の美術館をつくったりしながら、形や色の面白さや組合せの感じなどを捉えている。</u></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活を楽しくするものを<u>思い付いたり、粘土でつくりたい形を考えたりしている。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や用途に合わせて、ひもづくりや板づくりなど粘土の特徴を生かした<u>つくり方を工夫している。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感じたことを話したり、<u>簡単な文章で書いたりしながら、身近な美術作品のよさや面白さなどを<u>感じ取っている。</u></u></li> </ul>

※下線は筆書による。

それぞれの能力は、児童が主体となった能動的な活動により育まれます。児童が思い付くべき「表したいこと」や、工夫すべき「表し方やつくり方」などを教師が示しすぎないよう気をつけ、題材で育てる能力を「引き出し伸ばす」ことを大切に指導してください。